# 令和元年度事業報告書

【総括版】

社会福祉法人 東北福祉会

#### 1. 本部

総括

実

施

項

目

- 1. 前年度からの継続として、法人経営組織のガバナンスの強化に向けて、内部統制システムに係る内部監査室を実施した。
- 2. 福祉人財の確保に向けた取り組みとして、採用に関する専用サイトを構築し立ち上げた。
- 1. 経営組織のガバナンス強化
  - (1) 理事会/6月12日・6月26日・12月19日・3月17日/4回開催
  - (2) 評議員会/6月26日 (定時評議員会)、3月25日/2回開催
  - (3) 監事/前年度期末監査:6月5日

中間監事監査:11月11日(杜、里、DCRC、本部事務局)、11月18日(ものう)、

12月24日(館)

公認会計士との意見交換:12月17日

(4) 会計監査人/前年度期末監査:5月14日(杜)・5月15日(ものう)・5月16日(館)

・5月17日(里、DCRC)・5月18日(本部、全体)

期中監査:9月17日(杜)、9月19日(館)、11月25日(里)、11月27日(ものう)

- (5) 内部監査/訪問実地調査:3月3日(館)・3月17日(里)
- 2. 各種会議・検討委員会
  - (1) 法人経営·施設長会議:12 回開催、(2) 法人総務部課長会議:10 回開催、
  - (3) 人財評価検討委員会:10 回開催、 (4) 人財獲得検討委員会:13 回開催
  - (5) 人財育成・定着検討委員会:12回開催
- 3. 法人事業の見える化
  - (1) 公開講座の開催、(2) 採用専用サイトの構築
- 1. 経営組織のガバナンス強化

- (1) 就業規則一部改正、(2) 准職員及び契約職員規程一部改正、(3) 経理規程一部改正、
- (4)給与規程一部改正、(5)留学生等に対する奨学金貸与規程制定、(6)倫理規程一部改正
- (7) ハラスメント防止規程一部改正、

2. 法人事業の見える化

- (1) 公開講座/介護×ICT 変えようケアワーク (11月9日・東北福祉大学東口キャンパス)
- (2) 採用専用サイトを活用した人材獲得の実施強化 (2020年度事業)

#### 2. せんだんの杜

総

主

な

内

容

1. 職員それぞれが専門性を発揮し、利用者の生活支援に対して目的をもった実践に励むことができた。また、職員の声を大切にした職場作りを推し進めることができた。

2. 社会福祉法人としてご利用者、地域、関係行政等と連携し、誠実な運営を実施することができた。また、組織改編、各事業体制の効率化等について検証を重ね、徐々に実行に移すことができた。

実施

項

- 1. 利用者一人ひとりのニーズに沿った生活支援に取り組み、子どもから高齢者までそれぞれが固有の"暮らしの継続"を念頭においたサービス提供に努めることができた。
- 2. 理念に向かってやりがいを持ち、職員個々人が大切にされている実感をもてるよう、職員の声を広く 拾う取り組みを行い、計画的に魅力を感じることのできる職場環境作りを実施することができた。
- 3. 社会福祉法人として社会的要請に応えるべく、利用される方々、地域そして関係行政機関等とも協力をしあい、事業運営に取り組むことができた。(認知症カフェ、災害時指定福祉避難所開設、宮城県ロボット等導入モデル事業 等)

#### 【制度に基づく取り組み】

- ・理念の達成に向け、職員の意見や提案を具体化する取り組みをせんだんの杜全体で行うことができた。
- ・今年度より開設をした就労継続支援B型については、徐々に利用者も増加しており、利用者の自立した 活動と参加を支援することができている。事業拠点を国見の家とすることで、地域住民との相互的な協力を目指す取り組みに努めることができた。

#### 【地域公益活動】

内 容

主

な

- ・次世代の有望な人財育成が行えるようインターンシップの受け入れも始め、効果的な福祉教育を丁寧に行うことができた。
- ・地域住民、ボランティア団体、町内会等と様々な課題を共有することができた。認知症カフェを中心と し、各団体等へ施設内のスペースを貸し出す等、地域と協力しあう中で事業展開をすることができた。

#### 3. せんだんの杜ものう

- 1. 各種研修を通じて、知識の深化・技術の習得と向上に取り組み、職員のスキルアップとサービスの質向上に努めた。
- 総 2. 管理職者会議や各部署単位での会議において、安定経営を念頭に置き、稼働率・収支状況等の把握・ 括 分析に努めた。
  - 3. 職員が働きやすく、働きがいのある職場づくりを目指し、コミュニケーション量を増やすなど、職員の「声」を拾いながら職場環境改善に取り組んだ。
  - 1. 日常の OTT を中心とした人財育成に取組み、内部研修・外部研修の計画的実施と受講支援
  - │ 2. 定例会議における収支状況の把握・分析と、改善策の検討と実践に向けた取り組み
    - 3. 各部署が掲げた目標達成に向けた取り組みと、働きやすい職場環境の改善に向けた取り組みへの支援
    - 4. 運営推進委員会や地域包括支援センターの機能を活かし、地域住民の声を聞き、より住み慣れた地域での暮らしを継続できるための支援策の検討と実践

#### 【制度に基づく取り組み】

- 1. 目標管理制度による職員個々の目標達成に向けた支援として、内部研修の実施、計画的な外部研修受講の機会を設け、人財育成、人財定着に向けた継続的な取り組みに努めた。
- 2. 入居者満足度調査の実施、福祉サービス第三者評価の受審等、入居者・利用者・ご家族からの評価や要望を知り、その内容を基にした生活環境の見直しと生活支援の良質化に努めた。
- 3. 入所系サービスは空室期間の短縮、居宅系サービスは営業活動による新規利用者の開拓に取り組み、 稼働率向の維持・向上に努めた。また、節電・節水などを心掛け、経費削減を図った。

#### 【地域公益活動】

- 1. 広報誌の発行等を通して、事業所の活動の様子や取り組みを発信し、より身近な存在として認知してもらえる広報活動を行った。
- 2. 介護予防教室やサロン、介護者教室等の開催、近隣小中学校の福祉体験の受け入れを行い、専門職を中心として対応を行い、住民のニーズに合わせた介護・福祉に関する情報提供に努めた。
- 3. 運営推進委員会を定期開催し、地域住民の思いや願いを知り、ニーズに対応できるための事業の在り 方を検討する機会とすることができた。

#### 4. せんだんの里

- 1. サービスの利用率向上と加算(介護報酬)の新規取得により収益増を目指す。
  - ⇒実施体制の見直しや新規加算取得を行った結果、特養利用率向上、通所介護の収益単価上昇等により 安定経営に繋げた。
- 2. 事務費支出の圧縮、その他経費の節減により収益増を目指す。
  - **⇒**物品購入、コンピュータシステムの見直し等、経費上昇の圧縮に努めた。
- 3. 多角的な職場環境改善対策を進行し、職員の負担感軽減と働きやすい職場づくり、サービスの質向上の両立を目指す。
  - ■衛生委員会等による「職場環境改善」活動を継続実施し、職員意識の向上と職場・ケア環境の改善を 平行実施できた。
- 4. 地域連携推進活動を促進する社会貢献と集客効果の発揮を目指す。
  - ➡地域ボランティア(仙台敬老奉仕会会員)の育成と活動の場の提供、認知症カフェ(まちの音楽カフェ)や認知症サポーター養成講座の定期実施等を推進した。
- ※ 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2月以降の通所介護の利用率は20%程度低下した。
- 1. TFUグループ施設連携として、グループ内事業所間で業務委託契約を締結し、作業療法士の派遣・サービス提供を行えるようにし、収益の向上に大きな貢献をした。
- 2. 納品・施工業者の見直しや介護システムの法人一括契約等を行い、経費支出額の上昇を圧縮した。
- 3. 職場環境改善として、夏季:職場環境の整備、冬季:ハザードマップの作成を行い、継続している。

#### 【制度に基づく取り組み】

主 1. TFUグループ施設連携により、通所介護における生活機能向上連携加算及び個別機能訓練加算(I) を継続算定できるようになった。次年度は個別機能訓練加算(II) の取得を目指す。

#### 【地域公益活動】

- 1. 認知症サポーター・ステップアップ講座を開催し「せんだい認知症サポーター倶楽部」を結成した。
- 2. フェイスブックやインスタグラムのアカウントを開設しオンライン交流を推進している。

# 実施

項

目

主 な

内 容

総括

日 ------

内

施項

#### 5. せんだんの館

- 1. 利用者のニーズに応じたサービス調整および関係機関との連携による新規利用者の獲得、入居申込者等への継続的なアプローチにより稼働率の維持・向上を図った。
- **総** 2. 全職員が経営観念をもち、中長期的な安定経営を常に念頭に置き、その具現化のため、月間・年間の **括** 収支把握と分析を行いながら増収を図った。
  - 3. 職員が働きがいをもてる「魅力ある職場づくり」に取り組んだ。
  - 4. 近隣住民および関係機関との連携により、新たな地域サービスの開発・提供を実施した。
- 実 1. 居宅介護支援事業所の機能強化および TFU グループ施設連携機能の活用
- 施 2. 月間収支状況の開示と分析
- 項 3.「働きやすい職場環境改善」について部署ごとの目標設定と実践
- 目 ┃ 4.こども食堂の実施、広報誌の発行、各種料理教室の開催、講師派遣など

#### 【制度に基づく取り組み】

- 1. 介護支援専門員の増員により、相談ニーズの対応強化をした。新規入居者調整に伴う空床期間の短縮、空床を活用したショートステイの実施などにより、稼働率の維持・向上を図った。
- 2. 2月3月は新型コロナウイルス感染症予防を図りながらのサービス提供であったが、稼働率の大幅な低下を回避した。
- 3. ①職員同士のコミュニケーションや意見交換を重視し、業務の不安の解消や課題改善を図った。
- 主 ②処遇改善手当の新設や夜勤手当の増額等、介護職員の人財定着に取り組んだ。
  - ③働き方改革による有給休暇取得促進と相談サポートにより適正な人的環境整備を図った。
- 内 4. アウトリーチ活動から地域で抱えている課題を把握しながら、地域住民との協働活動に取り組んだ。 容 【地域公益活動】
  - 4. ①認知症カフェ「オレンジカフェすまいる」(11回開催:参加者 204名)
    - ②男性料理教室/やわらかクッキング(2回開催:参加者20名)
    - ③講師派遣(運動/口腔ケア/言語リハビリ等13回開催)
    - ④おたっしゃだよりの発行(年2回:800部数)とホームページ掲載
    - ⑤職場体験事業の実施(小中学校計5校:約100名)
    - ⑥こども食堂(につこり食堂を9月から5回開催:参加者204名)

#### 6. 認知症介護研究・研修仙台センター

総 東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との連携を深めながら、1.研究事業、2. 括 研修事業、3.運営事業費補助金による事業、4. その他の事業を実施した。

#### 【制度に基づく取り組み】

- 1. 研究事業
  - 1) 老人保健事業推進費等補助金による研究事業の実施
  - (1) 認知症介護従事者に対する研修の効果的な実施方法及び評価に関する調査研究事業
  - (2) 認知症の当事者と家族を一体的に支援する支援プログラムのあり方に関する調査研究事業
  - 2) 運営事業費における研究事業の実施
  - (1) ICTを活用した家族介護者への効果的な支援方法に関する研究
  - (2) 高齢者虐待防止・身体拘束適正化のための職場内研修における研修担当者への支援に関する研究
  - (3) BPSD スポット調査入力作業の教育的活用の可能性に関する研究
  - (4) 認知症ケアレジストリ研究
- 2. 研修事業
  - 1) 認知症介護指導者養成研修の実施(第1回13名修了、第2回14名修了)
  - 2) フォローアップ研修の実施(第1回 16名修了、第2回 11名修了)
- 3. 運営事業補助金による事業

運営協議会・外部評価委員会による管理・運営の充実、全国運営協議会によるセンターの適正な運営の協議、認知症に関する知見を一般市民に普及するための認知症介護セミナーの開催、地域住民を対象とした健康講座の開催

- 4. その他事業
  - 1) 認知症介護基礎研修 e ラーニング運用事業
  - 2) 事業推進室研修事業

認知症ケア専門士受験対策直前講座、認知症カフェモデレーター研修、高齢者虐待防止教育研修

3) 仙台市からの委託事業「仙台市認知症カフェ支援事業」

#### 【地域公益活動】

認知症カフェ(土曜の音楽カフェ♪)の実施、おれんじドア運営の支援

- 3 -

と主な内

実

施

項

目

な

# 7. 各事業の実績と目標の比較

### (1)せんだんの杜

No	サービス事業所名	定員(人)	R 1 年度実績(%)	R 1 年度目標(%)	H30 年度実績(%)	H29 年度実績(%)
1	特別養護老人ホームリベラ荘(従来型)	36	97.0%	98.5%	97.4	95.2
2	特別養護老人ホームリベラ荘(ユニット型)	18	88.5%	95.0%	93.1	94.6
3	ケアハウスフェリコ館	30	95.3%	100.0%	96.9	98.9
4	せんだんの杜短期入所生活介護事業所	16	92.0%	93.6%	88.4	77.4
5	せんだんの杜訪問介護事業所(障がい)	_	3951.7(時間)	2,600(時間)	3,598(時間)	3 2 9. 1 (時間)
6	せんだんの杜中山通所介護事業所(一般型)	10	69.8%	80.0%	80.5	58.5
7	せんだんの杜居宅介護支援事業所	_	73.6(件)	70 (件)	68.8 (件)	69.6(件)
8	国見ケ丘地域包括支援センター	_	280.7(件)	283 (件)	223.3 (件)	239.6(件)
9	杜の子ハウス (放課後等デイサービス)	10	77.5%	90.0%	89.4	93.1
10	遊杜家(放課後等デイサービス)	10	89.9%	90.0%	81.8	100.7
11	国見ヶ丘の家 (放課後等デイサービス)	10	78.2%	80.0%	71.4	51.4
12	国見ケ丘せんだんの杜保育園	99	105(名)	105(名)	105.0	105.8
13	国見ケ丘せんだんの杜保育園分園	28	30 (名)	30 (名)	30.0	107.0
14	せんだんの杜地域子育て支援センター	_	412.5 (件)	400 (件)	346.8(件)	260.3(件)
15	せんだんの家(自立援助ホーム)	暫定9	9 (名)	8 (名)	6.5(名)	5 9. 7 (名)
16	杜の工房(就労支援B型)	20	2 (名)	15 (名)		
	※N016. 「杜の工房」は令和元年度より新規関	昇設した事業	所。			
備						
考						

# (2) せんだんの杜ものう

No	サービス事業所名	定員(人)	R元年度実績(%)	R元年度目標(%)	H30年度実績(%)	H29 年度実績(%)
1	特別養護老人ホームファミリオ	50	96.8	99.0	97.2	97.7
2	ものう短期入所生活介護事業	15	82.2	99. 5	100.9	100.8
3	地域福祉センター通所介護事業(月~金)	25	78.9	85.0	80.8	75.0
4	ものう通所介護事業所	廃止				
5	ケアハウスフェリカ	15	95.6	99.5	93.2	98.1
6	ものう訪問介護事業	_	454.8 (時間)	670.0 (時間)	496.2 (時間)	5 4 3. 9 (時間)
7	ものう居宅介護支援事業	_	108.4(件)	115.0(件)	113.0(件)	118.0(件)
8	石巻市ものう地域包括支援センター	_	108.2(件)	120.0(件)	123.3(件)	128.2(件)
9	なかつやま認知症対応型共同生活介護事業	9	97.7	99.0	96.8	91.6
10	なかつやま第一通所介護事業(月~日)	10	69.0	80.0	73.1	68.1
11	うした認知症対応型共同生活介護事業	9	98.2	99.0	96.7	98.5
12	うした通所介護事業 (月~日)	10	83.8	80.0	89.1	81.4
13	石巻市桃生地区第一放課後児童クラブ	40	13.6 (人)	20.0(人)	14.4 (人)	15.5 (人)
14	石巻市桃生地区第二放課後児童クラブ	50	35.5 (人)	40.0(人)	37.5 (人)	34.2 (人)
	ものう通所介護事業は、平成31年4月30	日廃止。				
備						
考						

# (3)せんだんの里

No	サービス事業所名	定員(人)	R元年度実績(%)	R元年度目標(%)	H30年度実績(%)	H29 年度実績(%)
1	せんだんの里特別養護老人ホーム	160	97.6	96.8	94.7	96.8
2	せんだんの里ショートステイ (障がい福祉サービス含む)	34	79.7	91.1	83.6	84.3
3	せんだんの里デイサービス	月~土30	69.8	80.0	月~土75.6 日 73.7	月~土80.8 日 85.3
4	せんだんの里国見ヶ丘3丁目デイサービス	月~金 10	73.9	80.0	71.6	69.3
5	せんだんの里グループホーム	27	96.3	80.0	98.6	99.2
6	せんだんの里国見ヶ丘3丁目グループホーム	9	97.3	98.0	97.5	100.0
7	せんだんの里居宅介護支援事業所		102.5(件)	126.0(件)	103.5(件)	105.1(件)
備						
考						

# (4)せんだんの館

No	サービス事業所名	定員(人)	R元年度実績(%)	R元年度目標(%)	H30年度実績(%)	H29 年度実績(%)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	97.7	98.3	97.1	97.8
2	せんだんの館ショートステイ	20	91.5	90.0	90.7	90.2
3	せんだんの館デイサービス	40	82.9	82.8	7 9. 6	77.9
4	せんだんの館居宅介護支援事業所	_	29.8(件)	24 (件)	3 2.5 (件)	
備	ルンジンの約日度人業土極事業記述立よった					
考	せんだんの館居宅介護支援事業所は平成30年7月1日から開設					

# (5)認知症介護研究・研修仙台センター

No	研 修 名	定員(人)	R元年度実績(人)	R元年度目標(人)	H30年度実績(人)	H29 年度実績(人)
4	第1回認知症介護指導者養成研修	20	1 3	2 0	1 5	2 1
1	第2回認知症介護指導者養成研修	20	1 4	2 0	1 8	1 6
0	第1回フォローアップ研修	20	1 6	1 7	1 7	1 4
	第2回フォローアップ研修	20	1 1	1 7	1 2	1 3
備						
考						